

奈良県の道路と都市公園整備の充実を求める合同県民大会

平成27年10月29日
於: 奈良市ならまちセンター
14:00~

次 第

1. 開 会

2. 主催者挨拶

3. 来賓祝辞及び紹介

4. 主催者紹介

5. 意見発表

- ・道路環境が変える活性化 (昭和工業団地協議会)
- ・樅原における京奈和自動車道の早期整備を! (樅原商工会議所)
- ・京奈和自動車道・未事業区間の早期開通について (奈良県トラック協会会員 富士運輸(株))
- ・奈良市内国道24号の渋滞におけるバス運行について (奈良県バス協会会員 奈良交通(株))
- ・私と造園との関わり～夢への約束 誰でもない 私の夢は私がつかむ (県立磯城野高校生)
- ・世界遺産春日山原始林の保全再生に向けた取組 (春日山原始林を未来へつなぐ会)

6. 大会決議

7. 講 演

「道路近代化が奈良県にもたらす効果

ー京奈和自動車道全通の早期実現に向けてー」

近畿大学名誉教授 斎藤 峻彦 氏

8. 閉 会

要 望 (案)

- 一、国においては、必要な公共事業予算を安定的かつ持続的に確保するとともに、来年度の道路予算については、「安全・安心につながる国土強靭化」、「地方創生の推進」、「地域産業や観光産業を長期的に成長させるストック効果の最大化」の観点から、道路整備に必要な総額を確保し、道路整備の遅れや地域の課題に応じた適切な予算配分を行うこと。
- 一、京奈和自動車道については、平成十八年度に県内で初めて供用して以降、累計で二百二十七件、毎年二十件以上の新規企業立地を維持し、新たな雇用創出の効果が出てきている。今後さらに県の地方創生を実現するためにも、必要な事業費を確保し、一般部も含めた事業中区間（大和北道路、大和御所道路）の早期供用を図ること。
- ・開通の見通しが公表されている御所南インターチェンジから五條北インターチェンジ間の平成二十八年度供用に向けた着実な推進
 - ・平成二十九年度以降、西名阪自動車道以南における唯一の未開通区間となる橿原北インターチェンジから橿原高田インターチェンジ間の専用部の平成二十八年度工事着手と平成三十年代半ばの供用
 - ・（仮称）奈良インターチェンジから郡山下ツ道ジャンクション間の用地取得の促進、早期工事着手と平成三十年代半ばの供用
- 一、京奈和自動車道の未事業化区間である（仮称）奈良北インターチェンジから（仮称）奈良インターチェンジ間にについては、京奈和自動車道全線開通に向けた最後のミッシングリンクとなり、早期解消が近畿圏全体の課題となっていることから、早急な課題解決のためにも県負担の大軽減を可能とする有料道路制度の活用を図ること。
- 一、今年七月、土砂災害のため国道一六八号桑烟地区が二ヶ月の通行止めとなり、大災害時に緊急輸送ルートとなる「紀伊半島アンカールート」の早期整備の緊急性、重要性が改めて認識された。国道一六八号「五條新宮道路」（地域高規格道路）については、国庫補助による事業中である辻堂バイパスの平成二十九年度供用に向けて必要な予算を確実に確保するとともに、阪本工区の整備を進めしていく予算を確保すること。また、直轄権限代行による事業中の長殿道路、風屋川津・宇宮原工区、十津川道路の整備を推進するとともに、行による事業中及び新天辻工区の直轄権限代行による早期事業化を図ること。これらに併せて国道一六八号新伯母峯トンネルの直轄権限代行による早期事業化を図ること。国道一六九号については、新伯母峯トンネルの直轄権限代行による早期事業化を図ること。
- 一、県の幹線道路ネットワークとなる直轄国道二四号、二五号、一大三号、一六五号の整備を促進するとともに、渋滞や事故などの路線が抱える課題について対策を図ること。
- 一、インターチェンジアクセス道路をはじめとする幹線道路ネットワークの整備促進に必要となる、社会資本整備総合交付金については、十分な予算を確保すること。
- 一、老朽化する膨大な道路ストックの定期的な点検・診断、戦略的な維持管理・更新などの効果的なメンテナンスサイクルの構築、通学路の安全対策、災害防除事業など、安全・安心を高めるために必要な対策の推進及び都市部における慢性的な渋滞の解消、開かずの踏切対策など、地域の暮らしを支える道路の整備促進に必要となる、防災・安全交付金についても、十分な予算を確保すること。
- 一、活力ある地域を形成するとともに、地域の観光や産業を振興し、子育て世代や高齢者等が豊かに暮らせるまちづくりを進めるため、街路事業や市街地開発事業に必要な予算を確保するとともに、地方創生に向けた県・市町村・民間のまちづくり事業への新たな財政支援制度を構築すること。
- 一、名阪、名神、新名神の料金差に起因する奈良県にとって不都合な交通実態を踏まえ、道路をむ質く使う観点から、名古屋・大阪間の大型通過交通を対象に交通需要マネジメントに取り組むこと。

平成二十七年十月二十九日

奈良県道路利用者会議
道路整備促進期成同盟会奈良県協議会
奈良県市町村道路整備促進期成同盟会
奈良県街路事業促進協議会
京奈和自動車道建設促進奈良県民会議

要望（案）

本県における都市公園の整備について、これまで着実に推進しているが、今後も都市における重要な社会資本として、緑豊かで美しい都市生活空間の形成及び観光・交流・歴史文化を通じた地域活性化の拠点の実現を目指している。

一方で公園施設の老朽化への対応が喫緊の課題となつておりますが、各市町村においても、順次公園施設長寿命化計画の策定を進めている。

その上で平成三十二年開催の東京オリンピックに向け「奈良県トレーニングセンター」を始め県内挙げて各都市公園の事業促進を図っていく必要がある。

以上を踏まえ、次の事項について特段の配慮を賜りたい。

- 一、都市公園の整備等を図るため、国として社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の必要な額を確保すること
- 一、現在事業中及び事業予定の都市公園整備等に関する必要な事業費を確保すること
- 一、オリンピックの開催に向け、奈良のスポーツ力を高め、トップアスリートの育成・強化に取り組むための拠点施設として「奈良県トレーニングセンター」の整備に必要な事業費を確保すること
- 一、平成二十五年九月に「地域活性化総合特区」の指定を受けた「奈良公園周辺エリア」について、インバウンド受入環境整備の促進に必要な事業費を確保すること
- 一、「国営飛鳥・平城宮跡歴史公園平城宮跡区域」の整備促進及び周辺整備に必要な事業費を確保し、早期第一次開園に努めること
- 一、国営飛鳥・平城宮跡歴史公園飛鳥区域「キトラ古墳周辺地区」の整備を促進し、早期開園に努めること
- 一、特別史跡「藤原宮跡」や史跡「飛鳥水落遺跡」・「酒船石遺跡」の保存及び活用を図るため、国営公園（口号）として新規事業化すること

平成二十七年十月二十九日